



# 北海道教区報

第554号  
 発行所  
 天理教北海道教務支庁  
 札幌市中央区南8条西11丁目  
 電話011(561)-1148  
 F A X 011(561)-1190  
 E-mail:kyouku-h@vega.ocn.ne.jp  
 印刷  
 三浦印刷株式会社

## ワイワイフェスで 笑顔いっぱい 育成の喜び広がる



教区育成部は11/4に教務支庁にて第1回ワイワイフェスを開催し、教区青年会が支部活動の柱として推進しているワイワイプロジェクトを活用して、若い世代の育成を格段に進める催



しとなり307名が参加した。ハートクリーン活動から新たに展開したワイワイプロジェクトは、各支部の青年会が中心となつて女子青年、学生会などの若い世代と連携し、人材の趣味や特技、また地域にある要望や施設などを活用し、支部活動をより楽しいものにするのであり、今回のワイワイフェスは、そこで実際に活動が体験できたり、ワイワイプロジェクトを通して培った支部内の繋がりを活かしてフードブースを運営した

午前中は各会の活動紹介や現役小学校教諭・渡辺道治さんによるプレミアムトークが行われ、『ようほくはどこでも輝ける』と題して、自身の教育現場での荒れたクラスの再生への話

り、支部活動をより活性化することを目的に開催された。支舎の外にはテントが並び、参加者は心をワクワクさせながら神殿で開会となった。



北海道教区のホームページ <<http://tenrikyohk.wixsite.com/tenrikyo-hk>> 教区報がご覧頂けます。

や家族との触れ合いを通して、ただの喜び心で通っているのが語られ、多くの聴衆の心を掴んだ。昼食には用意したおにぎり弁当とお茶が配られ参加者は思い思いの場所で舌鼓を打った。

午後の部では13回目を教える教区音楽祭が開かれ、これまでになかった学生会バンドやラッ

グループが登場して盛り上げ、鼓笛隊（高台、天龍、小樽、上川、旭川、夕張）が元気をくれ、教区合唱団が会場を穩やかにして締めた。

旭川からマイクロバスで参加した「天理ニコニコドリムバンド」責任者の北森吉朗さんは「参加した隊員やお母さんから、素晴らしい行事に参加でき

て良かった、いつも以上に演奏を楽しめた、などの嬉しい感想を頂きました。私自身、若い世代の育成に対して向かう力を貰えました」と語っていた。

庁舎内ではフラワーアレンジメント教室や書道、ワークシヨップなどの室内体験ブース、庁舎外では焼きそば、豚汁、フランクフルトなどの定番

メニューの他、釧路ザンタレなど地域色を活かしたフードブース（模擬店）が食欲を満たし、射的・スマートボール・バールンハウスなどのキッズコーナーなど盛りだくさんな催し物に歓声が上がっていた。また、託児室や授乳室などキメ細やかな配慮もあり、各年代の方が終始楽しむ姿が見受けられた。

また、フェスに合わせて、若い世代に社会貢献を促すために献血車を招き、60名が受付し、51名が献血出来た。

▼参加総数307名  
【内訳】  
青年会員87名（15〜40歳）  
女性59名  
少年会員103名  
41歳以上58名】

### 福祉おつとめ総会開催

〈福祉厚生部〉

## 記念講演 「おつとめの心」

本部員 上田嘉世先生

北海道教区福祉厚生部（伊藤逸雄部長）は、11月3日、教務支庁において、福祉おつとめ総会を開催した。

福祉活動に関係する人、関心を持つ人が一同に会し、おつとめを通しておたすけを願い、更に福祉の心を学ぶことを目的としている。

この日集まったのは支部福祉担当者、道の教職員の方々、一般参拝者を合わせて60名余。午前10時、福祉厚生部の伊藤逸雄部長の手にあわせて参拝。その後、坐りつとめ、12下りのおつとめが、陽気につとめられた。終了後、西垣定洋教区長が挨拶

その後、記念講演が行われ、本部員で教義及び史料集成部の上田嘉世先生が「おつとめの心」と題し、講話された。

なお、この福祉おつとめ総会の前日、11月2日の午後3時から、平成30年度後期支部福祉担当者会議が、教務支庁大会議室で開催され、15名余が参加した。会議では、特に結婚相談室の活動のすすめ方について意見を交わした。伊藤部長は最期に「福

祉厚生部の様々な分野の活動は、現代のおたすけに直結する。保護司、里親などの活動は、教外からも注目されている」と結んだ。

（古川慎司）

### 【記念講演（抜粋）】

福祉とは、すべての市民に、最低限の幸福と社会資源を提供することなんです。要するに、人を助けるといふことなんです。



福祉の中でも色々ありますが、天理教では里親をして社会貢献をしているところが多く、北

海道も全国の三指に入るそうです。先日ある教会で、いつも5人位里子を預かっているそうです。が、教会に来たすぐに、「この教会に来て、しっかりおつとめをして、心のホコリを払って、心遣いを改めて、良い運命をつかんでいくんだよ」と言う、「わかる！」と言うんです。そういうお子さんでも、たすけて頂ける「おつとめ」について勉強させて頂きたいと思えます。

おつとめは、ない人間、ない世界をご創造された時のご守護を、今、たすけの上に現してください。泥海から人間世界を創り上げるのですから、お医者さんの見識や技術どころじゃない、どんなたすけもしてやろうというの、このおつとめがあります。医者がさじを投げた

病人を治す、豊年満作のお恵みも、争いや戦いまでも収める、誰もが困る難儀なことも助けてくださる。

教祖は、このありがたいおつとめを教えるために、五〇年のひながたを通られたんですね。そして、皆さんが今日勤めたおつとめは、かんろだいつとめの理を受けて、理を頂いて勤めると言われます。理を受けるといふのは、かんろだいつとめと同じ心でつとめるんだと言われます。そこで大切なことは、真実の心でつとめるといふこと。本のお話には、

「この度のたすけ教えるは、あしきを払いて、よふきの心になりて願えば、神の心も人間の心も同じ事ゆえ、どんなたすけでもしてやろう。教祖の心をひながたとして、心を入れ替えて願

え」とある。教祖の心は、陽気の心でありますから、そのように心を替えて願えば、どんなたすけもしてやろうというのですね。

全人類の母親の教祖ですから、その御心とまでは行きませ



んが、その万分の一でも真似をさせて頂いたなら、不思議な助けを見せてやろうというのです。本当に我が身思案を捨てて、あの人の人をたすけたまえという心は、教祖とひとつになれますね。

私も膝の曲がらない友人がいて、正座ができるようにお願いした時に、まず、自分のあしきを払わねばならん。職場でも曲げるところを曲げず、折れる所を折れないで、主張を通してケンカばかりしてたので、これを払わせてもらおうと友人とおつとめをしていたら、横に曲げていた足が次第に曲がっていき、終わったたら三年ぶりに正座ができたと言ってくれました。

そのあと直ぐに、人格障害という病気の方の相談を受けた。ぶつかった障子戸をめちゃくちゃにこわしたり、自転車も壊す。修養科に入れてもダメ、世話をしているご主人が疲れ果てちゃったという。私は、そんなとんでもないことをご守護頂くには、ひたすら自分の心のさんげをして、ほこりを払って、神様におねがいするしかない、と言った。その御婦人は、気性がきつくて、平気でご主人を尻に敷いている方だったのが、青年を助けるために、これから一生、主人を立てて通りますと心定めをした。

すると、青年が問題を起こさなくなってきた。てんかんの発作もない。東大病院で診てもらったら、てんかん波という脳

波がほとんど出ていないという。お医者さんに、どうしたんですか！と尋ねられ程のご守護を頂いたそうです。たすける側の心定め一つで、どんなこともたすけてくださるのですね。

「あしきをはらうて たすけてたまえ てんりわうのみこと」の心は、自分の心を払って、ひとのたすかりを祈るといふ、おたすけの根本なんです。

おつとめの形で言えば、親指も小指もピタッと付けて手をふるのが大事で、高弟の仲田儀三郎さんや高井直吉さんが、講社のお手直しに行かれたら、親指と小指を付けてと特に指導されていますね。これを気をつけて振りますと、全然おてふりが変わってまいりますので、意識しておつとめください。

第2節は「元の理」です。教祖は元の理を「まことと思てききわけ」と仰せで、真実と思つて聞きなさいと言う。

このもとをどうぞせかいへおしえたさ。そこで月日があらわれてでたと、元の理をどうにかして世界へ教えたいというのが、親神様の願いなんですね。だから、わかってもらわなくても、一言でも伝えていくなら、神様が喜

んで、不思議なご守護をお見せくださる。

ある方が長年便秘で苦しんでいた。そこで奥さんが毎朝、教典第3章元の理を読んで聞かせたところ、数日してスッキリと出るようになり、それ以来治ってしまつた、という話も聞きます。

私の知り合いの会長さんが、ALSという難病で、筋肉が衰えて、次第に呼吸ができなくなる、薬もないという方のおたすけに、元の理を読んでからおたすけをしていたら、病状が進まらず、良くなってきたと言っています。

元の理はおたすけに活かした時に、そのすごさが分かります。ありがたさが胸に沁みます。分

からなくても、たすかるのです。第3節の「かんろだい」は、第2節とつながっていると云われます。世界一列の心を澄まして、かんろだいをたてようという、親神様、教祖の悲願が表されています。ご存命の教祖のお心ですから、自分も唱えさせて頂いて、お連れ通り頂くというのが、よほほくですね。

ですから、最後に教祖にお連れ通り頂くというのを、身に感じておつとめ下さい。ご清聴ありがとうございます。

### 札幌4支部布教部が合同で講演会

## 「陽気べりし」

講師・幅下大教会長 伊藤芳正先生

去る11月11日10時より11時30分までの日程で、教務支庁にて、講師に、幅下大教会長・伊藤芳正先生をお招きして講演会を開催した。

札幌4支部布教部が主催して、受講者はようほくを対象に85名が参加した。内容は、この道を通る私達ようほくにとって欠かせない「陽気べりし」についてお話を頂いた。尚、お話の内容については今後掲載していく予定です。(音源については、担当・武田己千郎迄ご相談下さい)。

支部布教部長 研修会 報告

さる11月1日、教務支庁を会場に支部布教部長研修会を開催し、24名が参加し、今年度の活動を振り返り、次年度に向けて意義ある会となった。

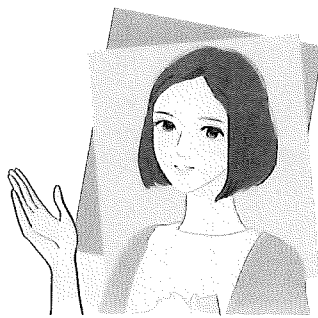
初日、雨のため予定していた神名流しは中止し、教務支庁神殿にてよろづよ八首を奉唱。その後会議となった。

美田教区布教部長は挨拶で、自身の4年前を振り返り10月の大祭に向かう飛行機の中での出来

天理教婦人会創立110周年 会員決起の集い

立教182年/2019年

▼立教183年・再来年の春に迎える創立110周年に向け、来年は全国各地で、決起の集いが開かれます。お近くの会場で、是非ともご参加ください。



- 5/1 統北分教会 (札幌市豊平区)
5/3 教務支庁 (札幌市中央区)
5/19 本輪西分教会 (室蘭市)
5/29 胆振分教会 (むかわ町)
6/1 雨龍大教会 (深川市)
6/16 網走大教会 (網走市)
6/23 稚内分教会 (稚内市)
6/30 北明分教会 (函館市)、人舞分教会 (十勝清水町)
上川分教会 (旭川市)、夕張大教会 (岩見沢市)
7/14 教務支庁 (札幌市中央区・13時と18時の二回)



※開会時刻はいずれも13時(7/14教務支庁だけ昼夜二回) 対象：婦人会員、16歳以上の女性。

第29回 女子青年大会

立教182年/2019年

11月3日 [日・祝]

…おちばで開催されます…

テーマ

広げよう 信仰のよろこびを

友達さそっておちばへ帰ろう!

事を回顧した。フライトした瞬間意識がなくなり呼吸困難に陥ったが、丁度、同乗していた医師や看護師にも見ていただき酸素マスクをして、関空到着頃には意識も戻った。いこいの家に即入院となり、肺に水が溜まっていたためと医師より説明を受けたが、何でおおぼ帰りの時にと不足心も出たが、ある人から「奇跡だよ」と言われハッとした。生かされている喜び。

各活動報告では、全教一斉ひのきしんデーやにをいかけデーの積極的な参加を呼びかけあい、各支部の状況を語り合った。その中で、にをいかけデーには講演フリップを採用している支部が多数有り、小樽支部では観光用に、韓国語、中国語、英語などのフリップも用意している様子がよくわかった。

また、陽気ぐらし講座では、苦小牧、日高、渡島支部では小中学校での開催をし、道徳の授業などで活用されている様子が報告された。一緒に参観している先生や保護者などからは「心にしみました」「今足元にある喜びを数えようと思いました」など感激され、次年度の開催も要望されるほどでした。

更に成人講座では、できるだけ多くのようばくに来ていただきたい思いから開催周知に苦労しているという声があり、時報購読者など社友と連携して声がけしている支部などの報告があった。

翌日は朝食後、教区周辺のゴミ拾いや、バス停清掃などひのきしんをさせて頂き、勇み心を持って研修会を終えた。 10月20～21日 学生会おつとめ総会
20日 学生層育成者講習会
21日 青年会例会
26日 本年秋季大祭選拜式
27日 教区長会議
29日 図書修理会
11月 1日 たすけ推進会議
1～2日 支部布教部長研修会
1日 災害隊幹部会議
2日 支部長会議
3日 福祉担当者会議
4日 福祉おつとめ総会
4日 四会合同行事
『Yフェス』
9日 任命願書発送
10日 事情願書発送
11日 第198回基礎講座
講師：高橋太志
受講：11名
累計：8千567名
18日 教区報編集会議

◎法律に関わる諸問題で相談 けいじばん